

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院・昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児ネフローゼ症候群の再発の原因として、通院による心理的なストレスが影響を及ぼしているか

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月～2023年5月の間、昭和大学横浜市北部病院小児科または同藤が丘病院小児科にネフローゼ症候群で通院していた患者さん

2. 研究目的・方法

小児ネフローゼ症候群は、初回治療で尿蛋白が消えた後も約70%の方が再発をします。再発の原因はさまざまであり特定できないことも多々あります。そのなかで、心理的なストレスが再発の誘因になっているという症例報告はありますが、心理的な要素で再発をするというエビデンスは現在のところありません。COVID-19の流行により2020年2月以降は病院への受診控えが多くなった中で、ネフローゼ症候群で通院されていた患者さんの中にも通院を自己中断してしまった患者さんがいますが、そのような患者さんが再発を起こした経験は今のところありません。今回通院を継続した患者さんと自己中断した患者さんの治療内容や経過、再発回数を調査し、通院によるストレスを含め、心理的な要素が再発に影響した可能性があるかどうかを調査したいと考えています。

本研究では、ネフローゼ症候群で通院中の患者さんのデータを取得します。患者さんのデータは、病院内の診療録管理室にて「4. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年 3月 31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、ネフローゼ発症年齢、治療歴、治療内容、尿・血液検査結果

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を

識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学横浜市北部病と同藤が丘病院から昭和大学小児科学講座へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院小児科 氏名 渡邊常樹

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院小児科 氏名：渡邊常樹

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号： 045-949-7000